

日本初！～防災分野における自治体との連携協定締結～ 「TikTok」と連携した防災啓発動画の配信



横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

横浜市は、災害に強い人づくり・地域づくりに向けた取組を推進しており、この度、消防局は、世界中で人気のショートムービープラットフォーム「TikTok」と連携協定を締結しました。防災分野としては自治体初の取組みとなります。

今後は、自助・共助促進の中核施設である横浜市民防災センターが「TikTok」と連携して、防災啓発動画を共同制作し、『防災TikTok』の取組として配信します。

動画配信を通じた幅広い防災啓発を、横浜市民防災センターが中心となって推進していきます。

《連携した取組》

○有名インフルエンサーによるオリジナル防災ソングの制作

フォロワー20万人を超える「うじたまい」さんが作詞・作曲した歌を通じて、地震発生時の「その場にあった身の安全」を伝えます。

振付けを交えて、楽しみながら防災について学ぶことができる楽曲となっています。

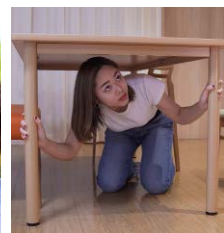


うじたまいさん

○防災啓発動画の共同制作（5テーマ） ※（ ）内は配信予定時期

- ・地震発生時の行動（6月）
- ・熱中症予防（6月）
- ・風水害対策（7月）
- ・「横浜市民防災センター」の施設広報（9月）
- ・火災予防（9月）

※上記5テーマの共同制作以降は、横浜市民防災センターが動画を制作・配信します。



〈参考〉



#防災TikTokとは

お天気や防災にまつわる知識や、日頃からの災害対策をわかりやすく伝えるTikTokの防災・災害対策における貢献プロジェクトです。

第一弾として、気象庁監修の大雨・洪水における防災啓発の動画配信を行っています。（防災TikTok：<https://bit.ly/2TKe2IS>）

※ 本件は防災TikTok第二弾の取組みとなります。

裏面あり

《経緯》

TikTok は 150 の国と地域で展開するショートムービープラットフォームで、全世界で累計 20 億ダウンロードを突破 (sensor tower 調べ) しました。動画コンテンツは多様化傾向にあり、ユーザー層は若年層のみならず幅広い世代に広がっています。楽曲やエフェクトなどを活用して簡単に動画編集・投稿が可能であることから、積極的にユーザーが参加するプラットフォームとして現在注目されています。

若年層含む幅広い世代のユーザーが多い TikTok において、自分事としてとらえることが難しい『防災』というワードを身近に感じてもらいたいという点で合致し、TikTok との連携協定の締結に至りました。



TikTok は、モバイル向けショートムービープラットフォームです。私たちのミッションは、創造性を刺激し、喜びをもたらすことです。TikTok には、ロサンゼルス、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ベルリン、ドバイ、ムンバイ、シンガポール、ジャカルタ、ソウル、東京などの国と地域にグローバルオフィスがあります。

お問合せ先

消防局横浜市民防災センター 所長 今山 徹 Tel 045-312-0119